

## 取組のポイント

- ◆連作障害に苦慮しているしょうがに代わる新たな地域資源として、たけのこ芋、山菜（コゴミ）の実証生産と、たけのこ芋等を活用した加工品及び調理メニューの開発
- ◆地元獣友会や近隣地に所在する解体所と連携したジビ工の安定供給体制の構築
- ◆農業の営みや自然等を活かした観光型農業体験等のプログラムを開発し、域外との交流や開発商品の販売を促進

## 地区の概要

## ◆ 位置

熊本県八代市 (旧東陽村)

旧東陽村



熊本県

- ◆ 活用した地域資源  
たけのこ芋、山菜（コゴミ）、ジビ工

- ◆ 事業実施主体  
東陽ブランド化推進協議会

- ◆ 主な取組団体等  
東陽まちづくり協議会  
(株) 東陽地区ふるさと公社  
(道の駅東陽)  
東陽グリーン・ツーリズム協会
- ◆ 事業実施期間  
R3～R5

## 地域資源の調査や付加価値向上等の取組

- ◆ 新たな地域資源を活用した加工品及び調理メニューの開発による付加価値の向上
- ◆ たけのこ芋、ジビ工等の安定した供給が行えるよう、栽培、供給体制の確立



【開発商品】

【コゴミの栽培実証・  
ジビ工の解体所との連携】

## 取組の特色

## 地域資源の消費拡大や販売促進等の取組

- ◆ 農業の営みや日本遺産に登録された石橋を活用した観光型農業体験等様々な観光プログラムを試行
- ◆ 商談会への参加による販路拡大、イベントを活用した開発商品の販売促進



【東京インターナショナルギフト・ショー出展】

【ワーキングワイークデイ  
(観光型農業体験)】

## 取組の成果

- ◆ 地域資源を活用した加工品及び調理メニューの開発 17品（たけのこ芋のババロア、猪肉のカレー 等）
- ◆ 商品化された青果・加工品の販売額及びツーリズムを活用した様々なイベントによる売り上げ増加額  
1,000千円 (R2実績) → 2,010千円 (R5実績) ※対前比201%
- ◆ バイク・自転車ツーリズムイベント等のグリーンツーリズム関係交流者数 50人 (R2実績) → 268人 (R5実績)